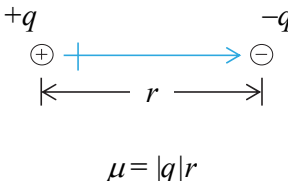
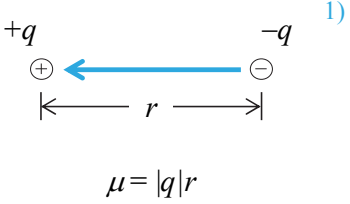
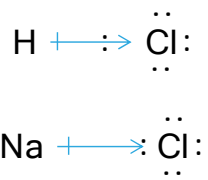
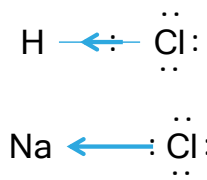
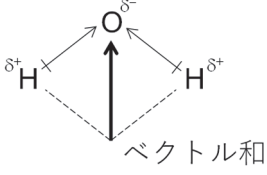
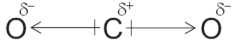

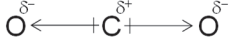
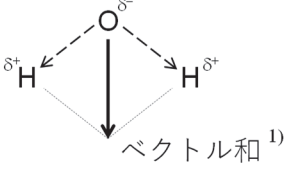
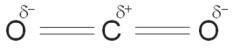


ページ	誤	正
第4章 55頁5行目	このように、 分子に双極子 がある状態を分極 (polarization) しているといい、 双極子 を持つ分子を極性分子 (polar molecule) という。	このように、 電荷に偏り がある状態を分極 (polarization) しているといい、 分子全体の正電荷と負電荷の重心が異なり電荷に偏りがある、つまり双極子 を持つ分子を極性分子 (polar molecule) という。
第4章 55頁表4-1 挿絵	 $\mu = q r$	 $\mu = q r$
第4章 55頁注		1) 双極子モーメントは-から+の方向を正にとる。ただし、有機化学では化学結合の電気的な偏りを表す方法として、双極子モーメントの矢印とは逆向きに、+から-に向かってプラスがついた矢印(+————→)を用いることが多くある。本書では、化学結合の局所的な電気的な偏りを表すときにプラスがついた矢印(+————→)を、分子全体の双極子モーメントを表すときに通常の矢印(←————)を用いる。
第4章 56頁図4-3		
第4章 56頁図4-4	(次頁に記載の図のように変更)	
第4章 56頁注		1) 結合の電気的な偏りは+から-へのプラスがついた矢印で、分子全体の電気的な偏り(双極子モーメント)は-から+へ通常の矢印で表記したため、矢印の向きが逆転していることに注意。
第7章 100頁 例題7-5 解答	$22.4 \text{ dm}^3 \text{ mol}^{-1} \times 0.998 \text{ mol} = 22.4 \text{ dm}^3$	$24.8 \text{ dm}^3 \text{ mol}^{-1} \times 0.998 \text{ mol} = 24.8 \text{ dm}^3$
第7章 100頁注3	…，標準状態のモル体積 V [L mol^{-1}] は $V = 8.314 \text{ J K}^{-1} \text{ mol}^{-1} \times 298 \text{ K} / 10^5 \text{ Pa}$ $= 2.48 \times 10^{-2} \text{ m}^3 \text{ mol}^{-1} = 24.8 \text{ L mol}^{-1}$	…，標準状態のモル体積 V [$\text{dm}^3 \text{ mol}^{-1}$] は $V = 8.314 \text{ J K}^{-1} \text{ mol}^{-1} \times 298 \text{ K} / 10^5 \text{ Pa}$ $= 2.48 \times 10^{-2} \text{ m}^3 \text{ mol}^{-1} = 24.8 \text{ dm}^3 \text{ mol}^{-1}$ なお、高等学校では標準状態は $0 \text{ }^\circ\text{C}$ (273 K)、$1.013 \times 10^5 \text{ Pa}$ (1 atm) と学んだので、$V = 22.4 \text{ dm}^3 \text{ mol}^{-1}$ も正解

ページ	誤	正	
第 11 章 153 頁 例題 11-4 解答 2 行目	(11-12) 式より, pH 7.00 では $\alpha=1$ となる。	(11-12) 式より, pH 7.00 では $r=1$ となる。	
第 12 章 171 頁 章末問題 8	Cu ₂ S と CuS の混合物 7.50 g がある。	Cu ₂ S と CuS の混合物 10.0 g がある。	
第 4 章 56 頁 図 4-4	誤		
	 <p style="text-align: center;">ベクトル和</p>		
	μ/D	1.85	0
	正		
結合の分極			
双極子モーメント	 <p style="text-align: center;">ベクトル和 ¹⁾</p>	 <p style="text-align: center;">ベクトル和は 0</p>	
μ/D	1.85	0	